

## ①要配慮者の支援強化（重点施策）

要配慮者の支援を引き続き進めるとともに、特に災害発生時における避難等について支援が必要な「避難行動要支援者」に対し、より一層の支援強化を図ります。

全体計画	避難行動要支援者の支援（重点）			
現況 平成 26 年度末	計画内容 平成 27～31 年度	重要業績評価指標 (KPI)	平成 26 年度 基準数値	平成 31 年度 目標数値
災害時避難誘導ワークショップの実施	災害時避難誘導ワークショップの充実	ワークショップの実施回数（年間）	20 回	20 回

## ②「自助」「共助」「公助」による防災対策の推進

防災対策の基本である「自分で守る」（自助）、町会・自治会や民間事業者等が地域で助け合う「みんなで守る」（共助）という意識の向上をさらに図ります。

全体計画	地域における防災訓練の充実			
現況 平成 26 年度末	計画内容 平成 27～31 年度	重要業績評価指標 (KPI)	平成 26 年度 基準数値	平成 31 年度 目標数値
訓練の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区防災訓練の充実</li> <li>区内一斉訓練の充実</li> <li>個別訓練の支援</li> <li>学校避難所での医療訓練の実施</li> </ul>	訓練参加人数（年間）	23,200 人 36,211 人	23,200 人 42,700 人

## ③避難所機能の充実と強化

区立学校避難所を中心に備蓄物資、水、トイレの確保などを進めてきましたが、今後は二次避難所、その他避難所、公園などの避難所機能の充実を図ります。

全体計画	避難所機能の充実			
現況 平成 26 年度末	計画内容 平成 27～31 年度	重要業績評価指標 (KPI)	平成 26 年度 基準数値	平成 31 年度 目標数値
<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所等の非構造部材の耐震化</li> <li>避難所等の便所排水設備の耐震化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非構造部材の耐震化調査・耐震化の実施</li> <li>便所排水設備の耐震化調査・耐震化の実施</li> </ul>	非構造部材耐震化工事件数（累計）	114 件	221 件 (29 年度完了)

### ⑥空き家対策の推進（重点施策）

管理不全状態にある空き家の適正管理に向けた取り組みを推進するとともに、公的施設として有効活用するなど、地域の生活環境の向上を図ります。

全体計画	空き家対策の推進（重点）			
現況 平成 26 年度末	計画内容 平成 27～31 年度	重要業績評価指標 (KPI)	平成 26 年度 基準数値	平成 31 年度 目標数値
空き家等実態 調査の実施	・ 空き家の適正管理の推進 ・ 空き家の有効活用の促進	管理不全空き家 解消件数（累計）	—	25 件
		空き家有効活用 件数（累計）	—	8 件

### （3）誰もがいつまでも元気で暮らせる環境を整備する

#### （施策 10、うち重点施策 7）

子どもから高齢者まで区民がいきいきと暮らし、地域の活力を維持していくため、区民の健康の維持・増進を図り、ライフサイクルに応じた健康づくりを推進します。また、疾病等の予防対策を充実するとともに、安心して暮らせる地域医療体制の整備を推進します。

一方、長寿化とともに、団塊世代も高齢期を迎え、高齢者の価値観やライフスタイルがますます多様化する中で、高齢者が生涯にわたり安心して地域で暮らし続けられるよう、多様なニーズに対応した支援策の充実を図ります。

また、障害者が地域で安心して暮らせるよう、障害者およびその障害に関する理解促進や普及啓発を図ります。

このほか、生活困窮者や生活保護受給者への自立の支援、ひとり親家庭への支援の充実など、区民の生活の安定を図ります。

### ①生活習慣病対策の充実（重点施策）

特定健康診査や特定保健指導を実施し、生活習慣改善の支援を行うほか、健診データ等を効果的に活用したしながわデータヘルス事業を推進します。

全体計画	国保基本健康診査およびしながわデータヘルス事業の推進（重点）			
現況 平成 26 年度末	計画内容 平成 27～31 年度	重要業績評価指標 (KPI)	平成 26 年度 基準数値	平成 31 年度 目標数値
国保基本健康 診査の推進	・ 健康診査受診率の向上 ・ データ活用による効果的 な保健事業の実施・評価	国保基本健康診査 の受診率	52.5% 39.8%	60.0%